

一般社団法人 ヘルスケア・データサイエンス研究所

研究助成 概要 報告書

助成年度	2021 年度
本研究期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 12 月 31 日
氏名	金岡 幸嗣朗
所属機関名 (助成決定時)	国立循環器病研究センター
職位・学位	上級研究員・博士
研究タイトル	健診で受診勧奨とされた生活習慣病患者の早期受診と予後に関する研究
キーワード	健診・生活習慣病・早期受診
論文掲載誌 (URL等ご記載ください)	

研究概要報告書

国立循環器病研究センター
情報利用促進部
金岡 幸嗣朗

<背景>

高血圧は我が国において約 4000 万人以上が罹患しているとされる。一方で、適切に血圧がコントロールされている患者は約 1200 万人程度であるという報告もあり、十分に疾病の認知や十分な治療がなされていない可能性が指摘されている。

我が国では、成人住民への生活習慣病等の検診が行われている。検診の目的は、生活習慣病等に早期に介入し、心血管疾患のリスクを減少させることとされている。本生活習慣病検診では、高血圧は血圧 160/100mmHg 以上で一括受診推奨、140/90mmHg 以上では生活習慣の改善のアドバイスを受けることが勧められている。

現在のところ、検診で高血圧を指摘された患者におけるその後の医療機関受診割合や、医療機関を受診した場合に十分に血圧管理目標に達しているかについて評価した研究はない。そこで、本研究では、検診・医療レセプトを用いて、検診時に高血圧を指摘された患者の受診実態及び受診後の血圧管理の実態に関して検討を行うこととした。

<方法>

本研究では、JMDC データベース、国保データベースから情報を収集した。2014 年から 2019 年度の間、上記データベースで、検診で初めて高血圧（収縮期血圧 140mmHg 以上または拡張期血圧 90mmHg 以上）を指摘された患者を抽出した。初回高血圧指摘時を基準として解析を行うため、(1) 検診時に高血圧の既往がある患者 (2) 高血圧の病名が検診以前に付与されている患者 (3) 検診前半年以内に降圧薬が処方されている、または高血圧に対する生活習慣病治療管理料を算定している患者 (4) 冠動脈疾患既往・脳卒中既往・透析治療歴のある患者 (5) 1 年後の追跡が不可の患者 (6) 未測定項目がある患者を解析対象から除外した。患者を I 度高血圧、II 度高血圧、III 度高血圧に分類して、各群における、検診受診 6 ヶ月、12 ヶ月後の医療機関受診、薬物治療の有無の割合を解析した。続いて、年齢、性別、に関して傾向スコアマッチングを用いて患者背景を調整し、検診受診後医療機関非受診群と比較した際の、医療機関受診あり・薬物治療なし群、医療機関受診あり・薬物治療あり群での検診受診後 1 年後から 3 年後までの血圧の変化を記述した。

<結果>

検診で初めて高血圧を指摘された患者のうち、263,440 人の I 度高血圧、80,862 人の II 度高血圧、17,648 人の III 度高血圧の患者について解析を行った (図 1)。

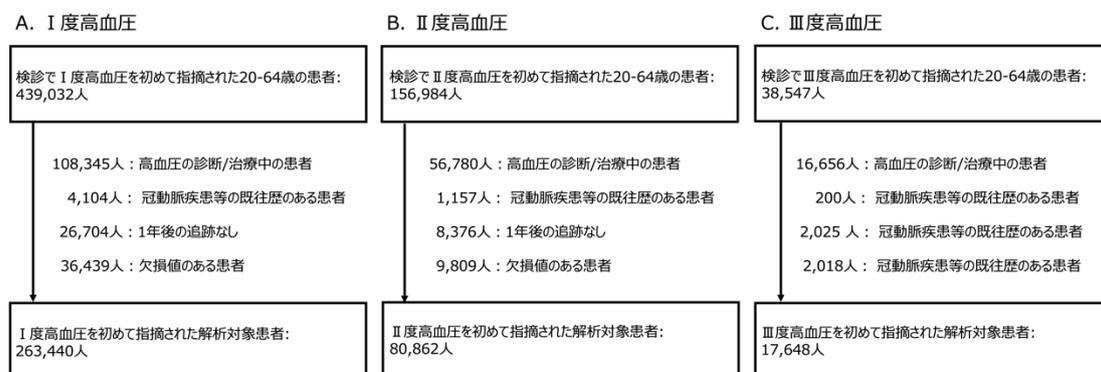


図 1. 解析フローチャート

解析対象となった患者のうち、1年以内に I 度高血圧では 87.2%、II 度高血圧では 66.5%、III 度高血圧では 55.4%の患者が医療機関を受診していなかった (図 2)。受診者のうち、実際に薬物治療を受けた患者の割合は、I 度高血圧と比較して II 度・III 度高血圧の患者で高かった。

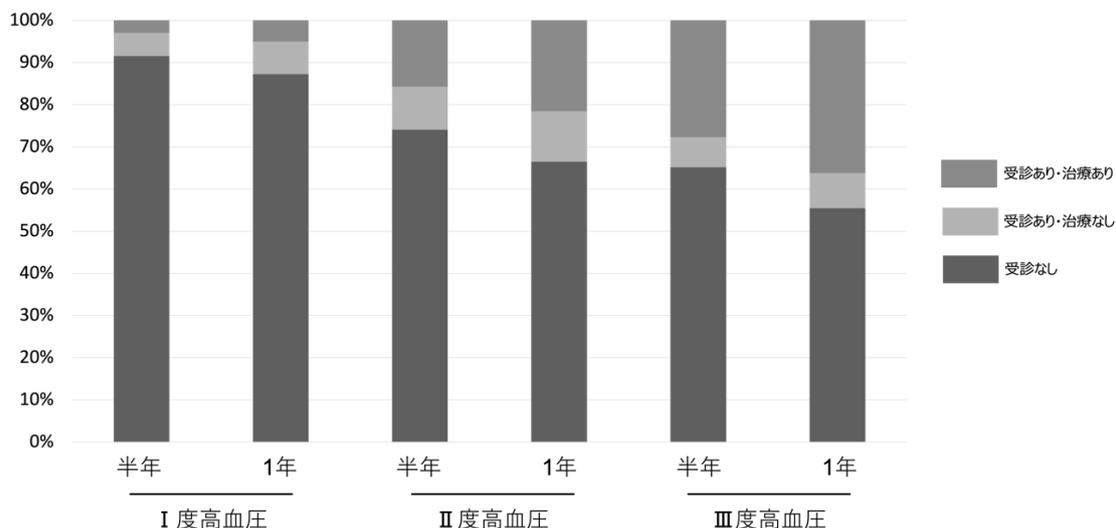
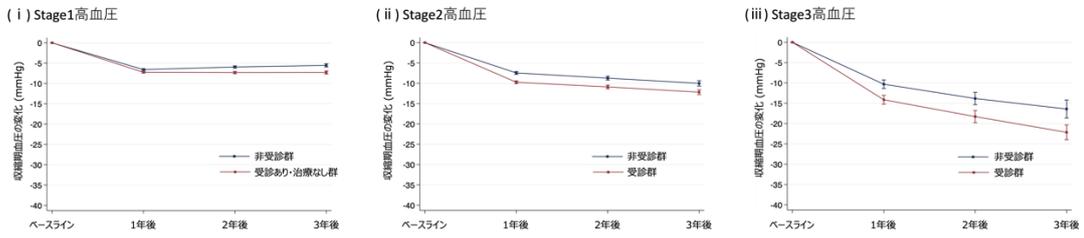


図 2. 検診で高血圧指摘後、半年・1年以内の医療機関受診と治療の状況

続いて、傾向スコアマッチングを行い、患者背景を調整した。検診で高血圧を指摘された後の医療機関なし群と比較した収縮期血圧の変化は、医療機関受診あり・治療なし群ではわずかであったのに対して、医療機関受診あり・治療あり群では 1 年後時点で速やかな降圧が得られていた (図 3)。

A. 高血圧指摘後受診なし群と受診あり・治療なし群との収縮期血圧の推移の比較



B. 高血圧指摘後非受診群と受診あり・治療あり群との収縮期血圧の推移の比較

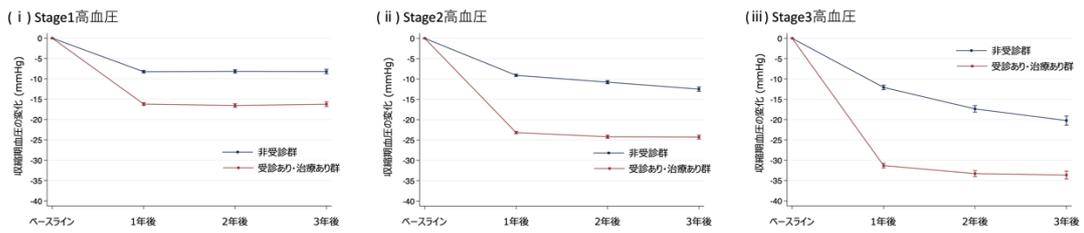


図 3. 高血圧指摘後、受診・薬物治療の有無での血圧の変化

<結論>

本研究から、検診で高血圧を指摘された後、医療機関受診に結びついている割合は比較的低いことが示された。医療機関の受診につながった場合、特に、薬物治療を受けた場合は1年後時点では降圧が達成されていた。これまでの研究からも、適切に降圧治療を行うことで将来の心血管イベントを抑制できることが示されており、今後は、検診で高血圧を指摘後、医療機関受診へ適切に繋げる仕組みを構築していく